

スクール・サポート・スタッフの配置とその効果について

資料3-2

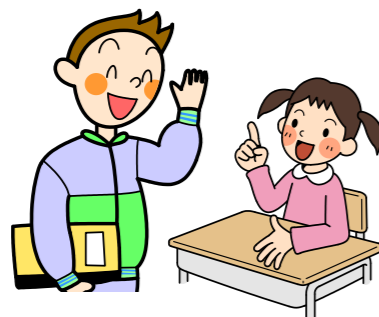
1. 現状

(1) 従事業務

区分	スクール・サポート・スタッフの従事業務
学習準備	○教具作り、プリント印刷
成績処理	○採点補助、成績入力
学校行事・児童生徒会	○資料印刷、配布物の仕分け、浄書、掲示、電話・来客対応
学年・学級経営	○資料印刷、掲示、会計事務、電話対応
調査への回答	○データ入力

(2) 配置状況 (配置時間:6時間/日×5日間×40週)

国	本県	配置の考え方
3,000人	30人	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度は、各市町村の小・中学校に1名ずつ配置し、効果を検証 ・H31年度以降は、検証結果を踏まえ、国の動向も注視しながら配置



2. 配置効果

(1) 学内勤務時間(昨年度と比較可能な17校の10月の1週間について調査)

学校規模 (学級数)	年度	小学校(10校)		中学校(7校)		(単位:時間)
		1人当たりの勤務時間(週)	前年比	1人当たりの勤務時間(週)	前年比	
小 1 ~ 11	H29	53.21h	▲4.21h	57.36h	▲1.22h	
	H30	49.00h		56.14h		
中 12 ~ 17	H29	56.45h	▲1.79h	—	—	
	H30	54.66h		—		
大 18 ~ 23	H29	54.66h	▲1.67h	58.58h	▲1.11h	
	H30	52.99h		57.47h		
全体	H29	55.25h	▲2.07h	57.90h	▲1.18h	
	H30	53.18h		56.72h		

(2) 配置校からの声

- 印刷や掲示などを依頼することで、授業準備や打合せなどの時間が確保でき、十分に児童生徒と向き合うことができた。
- 健康診断後のデータ入力を依頼することで、養護教諭が児童生徒の安全指導を行う時間を確保できた。
- 学期初め、学期末など、業務量が多くなる時期の勤務時間が削減できた。
- 不慣れな会計事務や浄書などを依頼することで、精神的負担感の解消につながった。
- 全小・中学校に配置してほしい。

3. 国の予算状況

H30	H31
3,000人	3,600人 (+600人)